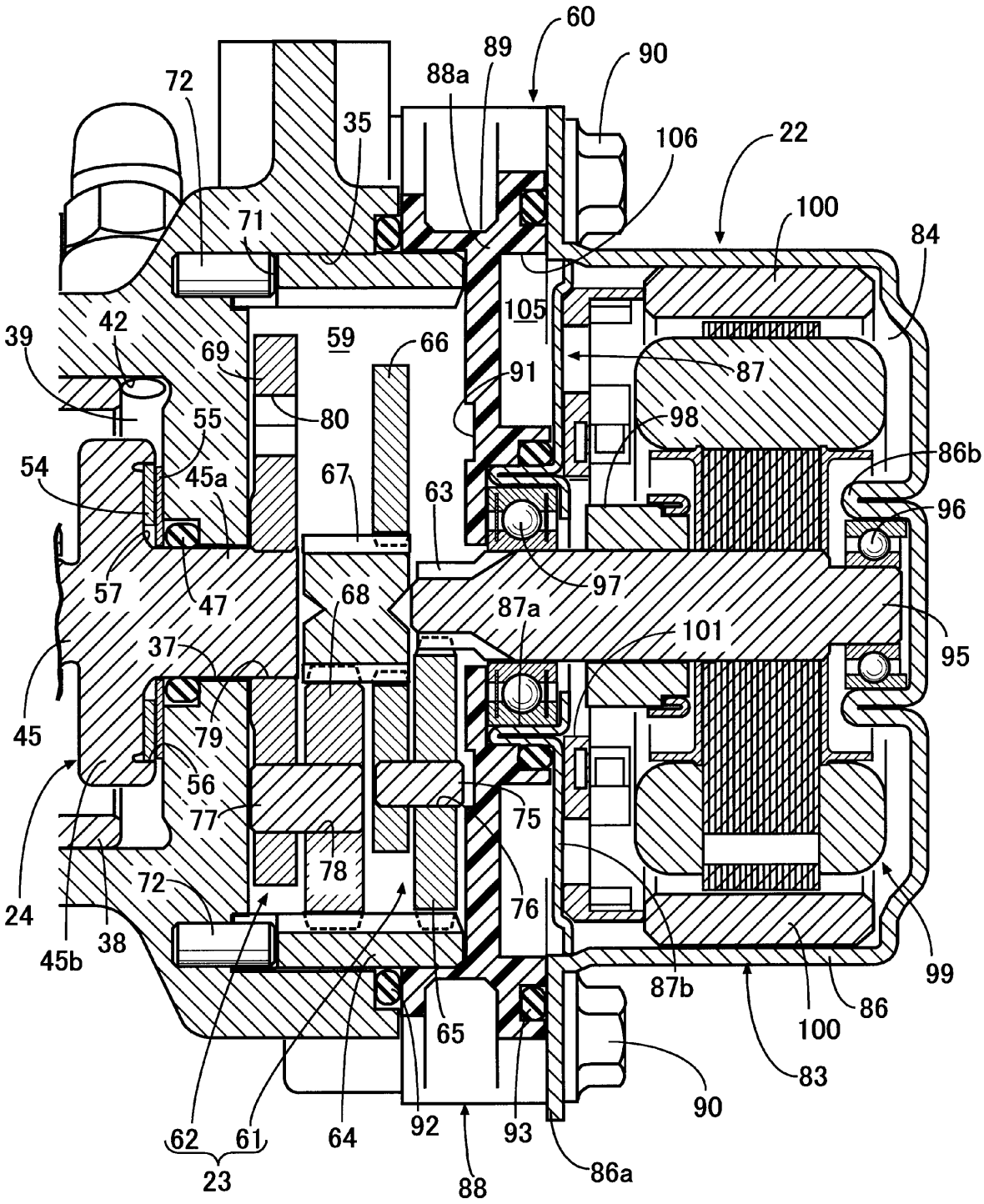
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【公開番号】特開2011-179655(P2011-179655A)
【公開日】平成23年9月15日(2011.9.15)
【年通号数】公開・登録公報2011-037
【出願番号】特願2010-46604(P2010-46604)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ　65/18　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　 1/28　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　57/02　(2006.01)
Ｈ０２Ｋ　 7/116　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ　65/18　Ａ
Ｆ１６Ｈ　 1/28
Ｆ１６Ｈ　57/02　３０１Ｆ
Ｈ０２Ｋ　 7/116

【手続補正書】
【提出日】平成23年10月3日(2011.10.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５９】
ところで第１の遊星ギヤ機構６１において、第１キャリア６６には複数の第１支持ピン７５…の一端部が固定され、第１遊星ギヤ６５…に設けられた第１支持孔７６…に第１支持ピン７５…の他端部が挿通されるのであるが、各第１支持ピン７５…の他端部に対向する環状凹部９１が、ギヤケース６０の第１遊星ギヤ６５…に対向する壁面、この実施の形態ではキャリパボディ２６とともにギヤケース６０を構成するモータケース８３の一部である蓋部材８８に形成されるので、第１遊星ギヤ６５…に対する第１キャリア６６の軸方向相対移動によって第１遊星ギヤ６５…から突出した第１支持ピン７５…の他端がギヤケース６０の内面に接触してしまうことを防止しつつ第１支持ピン７５…の長さを長く設定することができ、それによって第１遊星ギヤ６５…への第１支持ピン７５…のかかり代を大きくして第１遊星ギヤ６５…の回転安定性を確保することができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図４
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図４】


60
89
90
88a
72
35
106
22
71
100
84
105
42
39
59
66
69
91
87
55
80
98
54
45a
67
63
86b
96
57
47
68
87a
97
101
95
37
45
79
56
77
75
78
72
76
24
38
45b
87b
99
86
100
65
83
90
62
61
64
92
93
88
86a
23